

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.1)

1. 建物概要

建物名称	大原学園新潟校増築工事	
建設地	中央区花園1丁目	
用途地域	商業地域、防火地域	
建物用途	学校	
竣工年	2011年12月 予定	
敷地面積	746.05 m ²	
建築面積	520.04 m ²	
延床面積	4,422.41 m ²	
階数	地上10F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2010年9月30日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{47}{45} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.0		バリアフリー	3.0
			維持管理	3.0
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.0		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.0
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	2.0		雨水排水負荷低減	2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.5		建物の熱負荷抑制	4.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	2.3		節水	3.0
			リサイクル材の使用	1.0
			再利用可能性向上	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全・創出	1.0
			敷地内温熱環境の向上	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

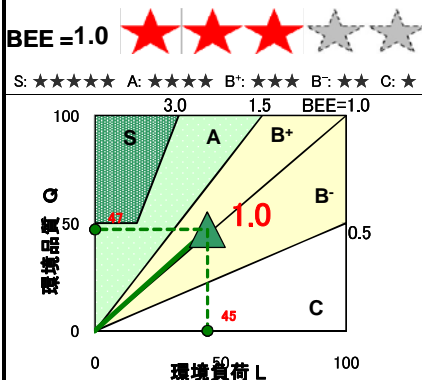
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

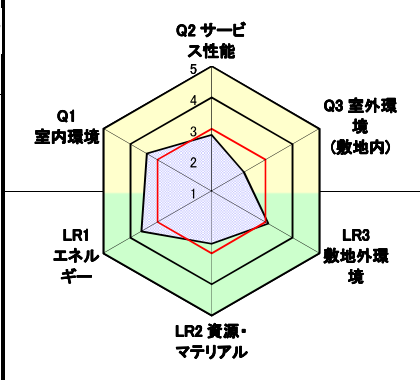
CASBEE®新潟 | 評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.1)

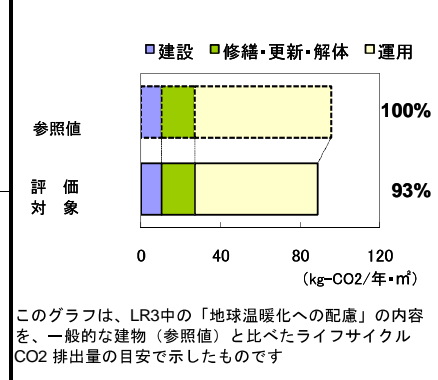
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



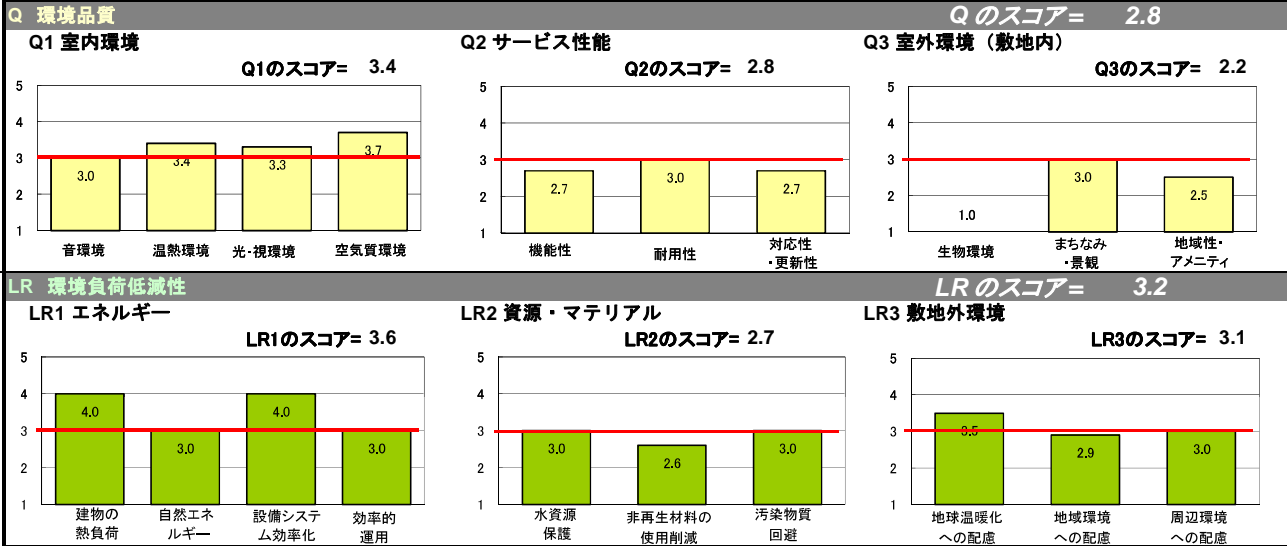
2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合 建物の配置は東西軸とし、東西南北の全方位に窓を設け自然通風を利用。北面にサイドコアを配置、また、階高を極力低くし熱負荷低減を図る。	その他
Q1 室内環境 室内騒音を抑えるため、天井、床に吸音材を用いる。空調換気扇の採用により、室内温湿度に近い空気環境と経済性、快適性を求める。照明器具はゾーン別に制御可能とする。	Q2 サービス性能 バリアフリー新法の建築物移動等円滑化誘導基準を満たしている。男性用・女性用トイレに清掃用流しを設けている。
LR1 エネルギー 空調機は高効率ヒートポンプエアコンとし、外気負荷軽減を図る全熱交換換気扇を採用。照明器具は消費電力の少ないLED器具を多用。	LR2 資源・マテリアル 敷地内に既存建築物があり解体せずに継続使用する。
	LR3 敷地外環境 燃焼ガスを排出しない、生ゴミを排出しない、騒音は規制値以下とするなど、周辺への環境に配慮。
	Q3 室外環境(敷地内) 建物の外壁線を道路境界より後退させ公道の視認性を配慮している。

- CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
- 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される